

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	7月1日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,361.58	2.30%
スリランカ	スリランカ コロンボ全株指数	6,422.69	2.16%
パキスタン	カラチ全株指数	26,156.41	3.33%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	4,537.92	0.67%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	7月1日比
インド	インドルピー	1.5630	2.63%
スリランカ	スリランカルピー	0.7190	2.38%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0020	2.35%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3380	2.22%

(出所：ブルームバーグ)

【各国の市況・トピックス】

【インド：GST法案の成立に期待】

インド株式市場は引き続き上昇基調を維持しました。政府が6月末に公務員給与や退職者の年金受給額の引き上げを承認したことで、消費関連企業の業績アップにつながるとの連想が働いたほか、インド準備銀行(中央銀行)の次期総裁が金融緩和に踏み切るとの思惑などが相場を押し上げました。現総裁のラジャン氏は政策運営手腕を高く評価されていますが、9月の任期満了にともなう退任を表明しています。地元報道紙によれば、物品・サービス税(GST)法案の成立を1年以上阻んできた野党が態度を軟化させたもようで、18日から議会審議が行なわれる予定とされています。同法案の成立によって複雑な税制が解消されれば、外国資本の呼び水になると期待されています。

【スリランカ：リスクオフ姿勢の後退とともに注目が集まる新興国資産】

スリランカが総額15億ドルの新規ユーロドル国債を発行したところ、海外投資家から発行額を大きく上回る申込みがありました。同国の将来に楽観的な投資家が多いことが確認できたため、株式市場にとっても支援材料となりました。英国の国民投票後に新興国資産は急落しましたが、先行き不透明感の後退や主要先進国に対する政策期待、米国の利上げ先送り観測などから、資金回帰が見られています。

【パキスタン：自動車市場好調】

パキスタン株式市場は大きく上昇し、カラチ全株指数は14日に史上最高値を更新しました。英国のEU離脱問題が一旦決着したことでリスク回避ムードが落ち着きを見せたことから、国内外の投資家の買い意欲が高まりました。13日、パキスタン自動車製造業協会(PAMA)は昨年度(2015年7月～2016年6月)の新車売上高を発表し、乗用車が前年度比+19.9%と好調な伸びを示しました。所得増や自動車ローン金利の低下が需要を後押ししていると推測されます。乗用車部門ではスズキやトヨタ(関連会社を含む)がトップメーカーですが、今後は競争激化が見込まれています。

【バングラデシュ：オンライン決済サービス導入に一步前進】

15日、バングラデシュの銀行がオンライン決済サービスを提供する米ペイパル社と合意書を締結したと複数の報道機関が報じました。同国政府は、以前よりオンライン決済の導入に取り組んでおり、早ければ8月にもサービスが開始されるとの事です。同国のインターネットユーザーは多くないものの、中小零細企業は数万あるといわれており、同サービスの導入によって、企業の事務負担やコスト低減に寄与すると期待されています。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

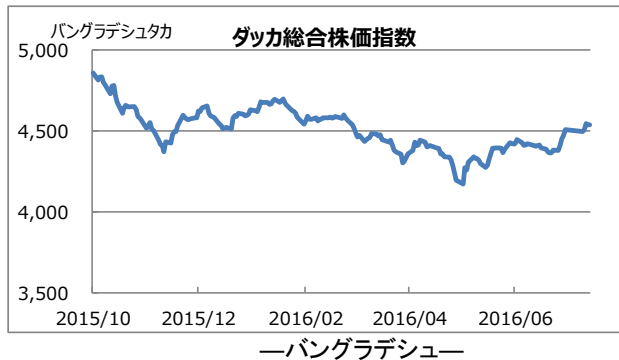
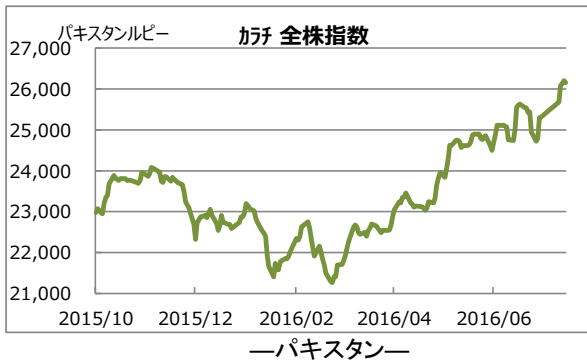
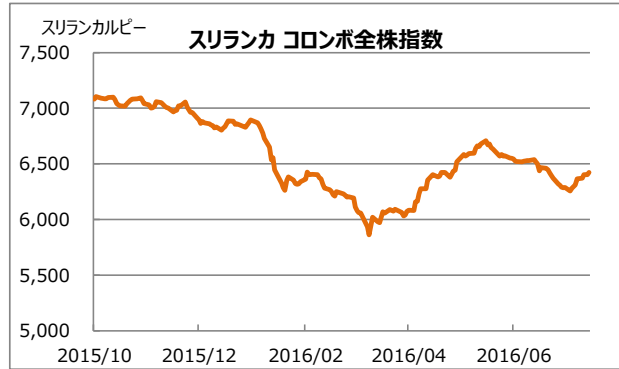
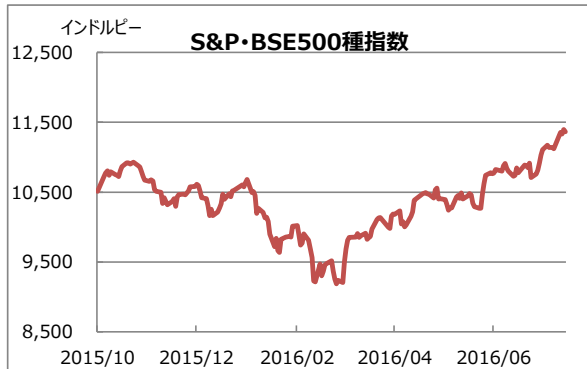
信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

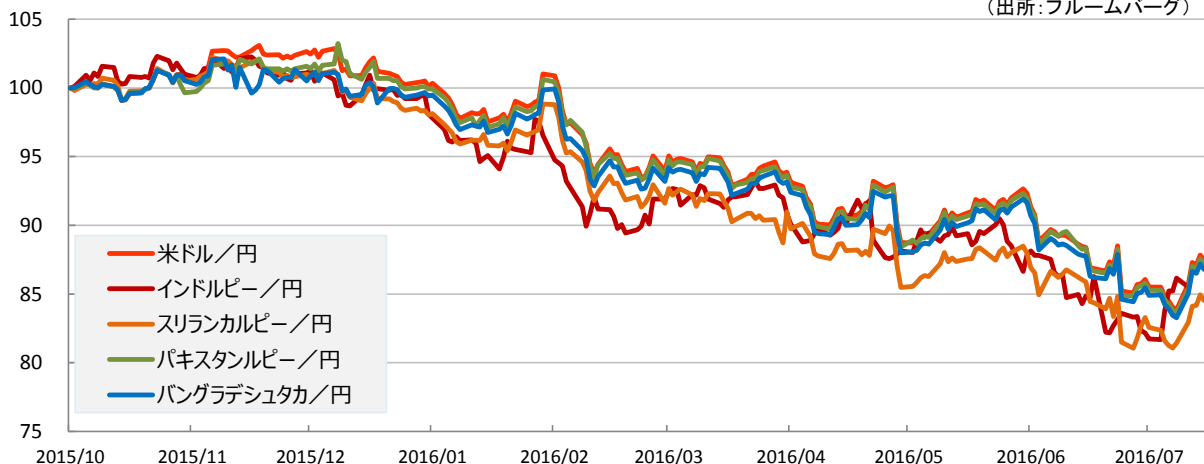
【株価指数の値動き】〔期間：2015年10月1日～2016年7月15日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



【為替の値動き】〔期間：2015年10月1日(基準日)～2016年7月15日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。